

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（副店長）	・今後、必ず政府は規制緩和し経済優先政策を取り、県としても沖縄台湾間での国際線就航を皮切りにクルーズ船も寄港する動きになってくると考え、年末に向け大いに期待する。
	◎	その他専門店 [陶器]（製造）	・新型コロナウイルス感染者の療養期間が短くなるなど旅行に対する感覚も少しずつ変わっていき、旅行者数が増えるのではないかと予想している。
	○	商店街（代表者）	・少しだけ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたようで、2～3か月後には客の出も良くなる可能性を期待している。今はまだ街中の景況は大変悪くて危機的状況にあるのは間違いない。
	○	一般小売店 [酒]（店長）	・新型コロナウイルス感染症の新開発ワクチンも出てきており、新規感染者数も減ってくるとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・観光客数が増加してきたので売上や客単価の伸びが期待できる。
	○	コンビニ（店長）	・現状では、平日、週末を問わず来客数が増えてきている。新型コロナウイルス感染症の危険性がこのまま低くなれば、更に来客数が増えると予測している。
	○	コンビニ（代表者）	・10月以降に予定されている多品目の値上げにより、今より県民の購買意欲は多少抑えられるが、観光を中心とする県経済は徐々に活発になっていく。
	○	一般レストラン（代表者）	・制限が緩くなっていくので、人の動きが活発になるだろう。
	○	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がこのまま落ち着いて早い時間の入客はかなり戻ってくるとみているが、平日、9時以降の入客がみえていない。ステイホームに慣れて、平日でも遅くまで飲み歩く沖縄の習慣が消えているように見受けられる。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・10月から12月は修学旅行シーズンで、今年は2019年の7割くらいの予約が入っている。全国旅行支援が始まることで更に利用が増えると期待している。飲食に関しても、新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かっていることから利用が増えるとみられる。ただし、調理やサービスの人材が以前より少ないことから、以前のような受入れは難しい。
	○	観光名所（職員）	・10月11日以降に全国旅行支援が開始される。
	○	その他サービス [レンタカー]（営業）	・6月以降需要は2019年に近づいており、先行受注状況も好調に推移している。全国旅行支援の開始も追い風になる材料と捉えている。
	□	百貨店（店舗企画）	・新型コロナウイルス感染症の影響は薄れつつあるものの、電気料金の上限撤廃による価格上昇を控え、年末商戦に影響が出るのは間違いないとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	・10月以降も値上げになる商品が多く、しばらくは客の節約志向は高いままだとみられる。
	□	スーパー（販売企画）	・10月も商品値上げの予定があり今後も物価高騰は続く。またコロナ禍やウクライナ戦争の影響も続くと思われるため、2～3か月先も景気は厳しいと考えられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は新しい季節の商品に変わっていくので期待していたが、まだ暑い日が続いていることと、新型コロナウイルス感染症の影響か、客の意欲が良くない。景気が良くなる気配はまだみえていない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・円安や戦争などが終わらないと、そう簡単には景気は良くなりないとみている。
	□	家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症は収束に向かうが、各業種の値上げが相次ぎ、消費意欲が低迷するとみられる。上期では、家電の修理件数が110%伸びている。全体的に、買換えを控えている印象を受ける。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・商品の供給不足は解消どころか、半導体部品の不足によって更なる減産となっている。受注を頂いた客へ納期延長をお願いすることの影響が懸念される。
□	住宅販売会社（代表取締役）	・上記受注以外にも請負契約直前の案件が数件控えており当面の受注に問題はなさそうである。	
▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの9月の販売室数が前年比284%増加なのに対し、12月の予約室数は前年比49%増加とプラス幅が小さくなっている。	

	▲	旅行代理店（マネージャー）	・全国旅行支援の発表があったが、地方の小さな旅行会社や宿泊施設は恩恵を受けにくいこと、開始後の仕様変更の多さ、後付け設定の多さなど現場を混乱させることがGo To Travelで経験済みなので余り期待しないようにしている。
	▲	住宅販売会社（役員）	・ここ近々の物価高により建築費の高騰が懸念され、住宅販売への影響が気になる。
	×	—	—
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	食料品製造業（役員）	・来月からインバウンド客も徐々に増加するとみており、また今まで中止していたイベント関連も開催が増えていくことに期待している。
	○	輸送業（代表者）	・宮古島や石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調に進み、宮古島や石垣島のホテル等で回復がみられるが、現状は供給過多の状態で物価対応の改善はできていない。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の沈静化によって、今後の観光関連の盛り上がりや国防関連の充実に期待が持てる。
	○	輸送業（経営企画室）	・飲食店の規制緩和等により観光業や各飲食業界の活気が復活することを期待している。
	○	広告代理店（営業担当）	・観光産業が回復傾向にあることが県内企業の販促活動に対してプラスに働いているとみられる。
	○	会計事務所（所長）	・コロナ禍による人流、物流の抑制からの反動増が期待される。
	□	窯業土石業（取締役）	・下半期は上半期と比較し若干売上増加が見込めるが、原材料の価格高騰により利益率の悪化が懸念される。
	□	建設業（経営者）	・円安、原油高で建築費が高騰し、事業が採算ラインに乗りにくいのでためらっている客が多い。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向にあり、今後観光業も回復してくる。
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・県内の求人数が増えてきている。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・行動制限がない状態が続いており、企業の採用活動活性化を見込んでいる。特に年末年始の行事やイベントに向けたアルバイト採用や、年明けに向けた人員確保を期待している。
	○	職業安定所（職員）	・全体的に人手不足が加速している。良い条件を出せる事業所とそうでない事業所、又は資材の高騰の影響があるところ、ないところなどなど、会社の経済的体力、産業などによって業績結果は分かるところだとみられる。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・社内のデジタルトランスフォーメーション化を推進していくための人材を求める企業が増えてきている。ITに関する様々なサービスが展開されていることもあり、それを活用できる人材を求めている現状があるのだとみている。また、そういった人材は幅広い知識や発想力が求められるため、教育現場としてもカリキュラムに工夫を加え、授業を展開することが必要である。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・観光客数が戻りつつあるとの報道はあるが、消費行動が活性化したとしても、全体的にはもう少し横ばいで推移するよう見受けられる。
	▲	—	—
	×	—	—